

2年生

「わたしのまちはっけん！」 西田の町のたからもの



成果 と 課題

<成果>

- ・友達の訪問先の質問内容を考えることで、自分が訪問しない場所への思いを友達に託すことができるようにした。自分の意見が反映されることで、コミュニティの中で暮らしている一人なんだという感覚を持ちながら学習を進めることができた。
- ・「反応のあいうえお」を子供たちのアイデアで作成し、提示したことで、反応を意識して聞くことができた。授業後も学びを活かそうとする姿が見られた。
- ・「おへや」という表現を使うことで、付箋の良さを生かしながら仲間分けをしたり、見出しを付けたりするなど、スムーズに分類・整理ができた。
- ・日頃から、話したい気持ちでいっぱいの子供たちが、「聞いて、聞いて！」と言うだけではなく、話す内容について相手はどれ位知っているかなと、相手のことを思いやる気持ちが見られるようになった。
- ・付箋は重ねたり、分類したりしながら、考えを整理できる便利な道具であることに気づき、その後の学習でも子供たちの中の1つのツールとして活かされている。

<本時の様子>

- 付箋を活用し、質問内容を検討したり、友達と自分の考えを交流したりすることで、情報を取捨選択したり、分類・整理したりすることができるようにした。
- 質問内容を整理することで、他者と協力する態度やコミュニケーションを行う力を育成しようとした。また、友達と話し合うことのよさを振り返り、これから活かすことができるようにした。
- 相談したいことを、生活科の町たんけんを訪れる施設への質問内容とした。そうすることで、より真剣に主体的に取り組む姿が見られた。

<課題>

- ・質問の順序決めについては、その必要性について考える必要があった。順序を決めることによって子供に与えられる安心感と、一問一答になってしまう可能性との両面から考えたい。また、どう質問を絞るのか、順序を決める際にどのような視点を大事にするのかについても、考えていく必要がある。
- ・今後、タブレットの使用に慣れ親しんだ上で、ムーブノートやロイロノートの活用についても検討していきたい。
- ・見学先の確保については、支援本部との連携が必須である。
- ・コロナウイルスの影響もあり、1回しか見学に行けなかったが、複数回見学の機会を設けることができると、より学習が深められる。

内容が同じ付箋を重ねると…
たくさんあった付箋がすっきりした！



次は、似ている内容を
同じ部屋に入れてみよう。

最後に、質問する順番を決めよう！
自分だったら、どの質問が答えやすいかな。

